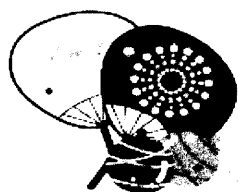


沼津市青少年教育センター

# たより

平成25年8月号 No. 503

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300



## 大人の背中。。。

沼津市立大岡中学校長 尾崎 庸夫

「親の背中を見て、子は育つ。」と言う。子どもたちにとって、周りにいる大人の姿は、どんな背中であれ、子どもたちの「見本」として写ることは間違いない。だから「見本」としてどうなのか、子どもたちには、どんな「背中」に見えているのか、気になってくる。

簡単に人を殺(あや)めたり騙したり、信頼を裏切ったり…そのような事件が相変わらず続いている、その度に「なぜ、このような事件が…」と嘆きたくなるし、「人間は大丈夫なのか？」という生物としての危機感を強く感じることも少なくない。子どもたちの将来が気になって仕方ない。

人間社会が大事にしてきた「信頼」が揺らぎ、「大人の無責任さ」を何とかしなければならぬ時代になってきた。なぜ、こんなに大人は無責任になってしまったのだろうか？いつから、自分勝手な損得勘定で動く狭量な大人になってしまったのか？

そこで、自分の子ども時代を振り返ってみる。自分の周りの大人たちは、本当に大人だった。話をする機会は少なかったが、それぞれの大人が、自分の仕事に誇りを持ち、その仕事を大切にしていた。大人としての自覚を持って、その務めを果たしていた。自分の子孫のためだけではなく、将来の世代のためにがんばっていた。そう自分には見えた…。「大人の背中」は、間違いなくそう語っていた…。

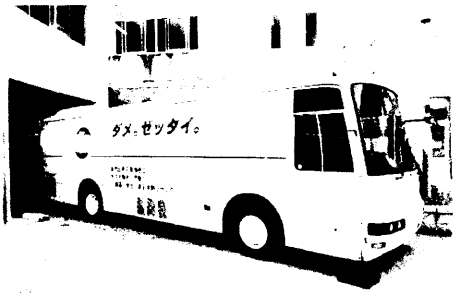
そして、子どもは、子ども時代を一生懸命生きていた。『遊びをせんとや生まれけむ、戯れせんとや生まれけむ。遊ぶ子どもの声聞けば、我が身さえこそ動(ゆる)がるれ。』と「梁塵秘抄」にある如く遊ぶことに真剣だった。遊ぶことが仕事だった。

同年代の子どもたちが群れて遊ぶ中で「人としての思いやり」や「助け合いの心」、「お互いを大切に思う気持ち」を育ててきた。いじめや体罰はあったとしても、子ども社会に「良心のブレーキ」は働き、「みんなの笑顔」はそこかしこにあった。

今を生きる子どもたちにとって「安心して遊んだり生活できたりする環境を整えてやること。」が、我々「大人の務め」なのだろう。それは言い換えれば、子どもたちが「よく学び、よく遊ぶ」ことのできる間(時間・空間・仲間)を確保してあげることだろう。そうやって、子どもたちが明るい未来を描くことができる時代にしていきたいと今さらながら強く感じている。

かつての小学生は、放課後、学校で思い切り遊び、寄り道をして遊びながら帰った。家に帰ってからも、近所には遊ぶ場所があり、一緒に遊ぶ仲間もたくさんいた。不審者がいても、あちこちに「大人の目」があって、子どもたちは見守られていた。

今は、かつてと同じようにはできないのかもしれないが、東日本大震災時の日本人の姿は、日本人であることに誇りを持たせてくれたし、日本人の優れた部分を再確認させてくれた。だから、我々は、「よく学び、よく遊ぶ間」を確保してあげることが出来るはずだ。未来を担う子どもたちが、健やかに育っていく社会にしていくために、我々は日々がんばるはずだ。大人のがんばりで、子どもたちに希望を与え、励ましていくことができるはずだ。「大人の背中を見て、子は育つ」のだから…。



# 薬物乱用の防止

— 薬物乱用防止キャラバンカーの学校訪問 —

7月3日(水)・4日(木)・5日(金)の3日間、薬物乱用防止キャラバンカーの学校訪問が行われました。五つの小学校を訪問し、薬物乱用防止について学習する機会を提供しましたが、子どもたちの熱心に取り組む姿が見られました。今年度の実施校は次のとおりです。

7月3日(水)	1日	金岡小学校
7月4日(木)	午前	原東小学校
	午後	第二小学校
7月5日(金)	午前	第三小学校
	午後	第五小学校

学習の内容は、「キャラバンカー体験」「DVDの視聴」「講師による講話」の三本立てです。キャラバンカーの中は、展示だけでなく、タッチパネル式パソコンなど興味を持てるように工夫されていました。子どもたちは、このすべてを体験します。三つの違った角度からの学習体験はとても効果的のように感じました。

参加した児童の感想です。



【キャラバンカー体験】

金岡小学校 工藤 優香

私は薬物乱用はよくないということは知っていたけれど、ここまでくわしく知ったのは初めてです。薬は人の心をしはいして、人をおかしくし、殺人までおかす物だと知りました。薬物はやめたくてもやめられなくて、自分以外の人にも危害を加える物だとも知りました。しかも脳にもものすごく悪いということも、さそう時、甘い言葉を使ってさそってくることも、断ることが必要だということも分かりました。「1回だけなら」というその心が命取りで、1回でもやってしまうと、げんちょう、げんかくも見えてとても危険な物だということも知りました。7月3日は本当にきちょうな体験をありがとうございました。



【講師の講話】

第五小学校 曾我 実咲

薬物がどれだけ危険なのかが良く分かった。実際にやってしまった人のくるしみを理解して、私たちも危険ということをひろめていきたい。さそわれてもしっかりことわることができる大人になり、自分たちより下の子も守れるようになればいいです。

# 面接相談



- ◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など青少年に関する面接相談。
- ◎相談および申し込み受け付け時間：午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
- ◎相談申し込み：951-3440

## 平成25年6月・7月の状況

6・7月には新たに申込みがあった16件（6月11件、7月5件）を含め、48件（延べ相談回数290回）の相談に応じました。

### 1. 相談内容別新規相談件数

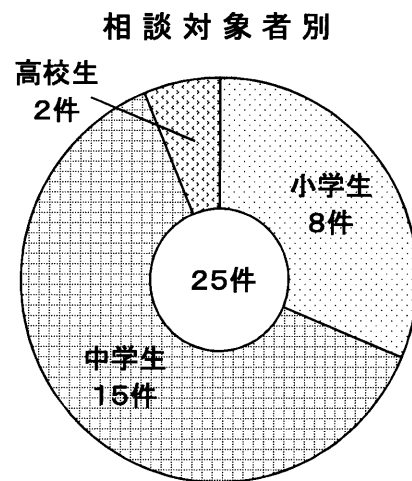
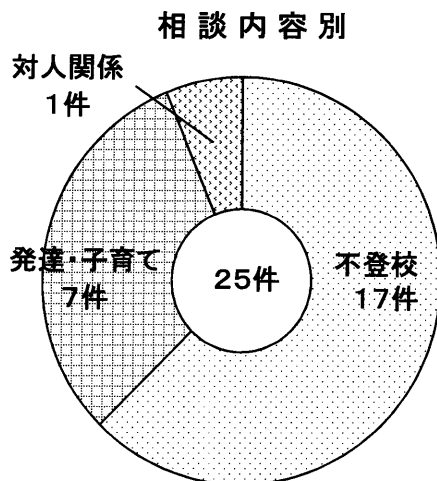
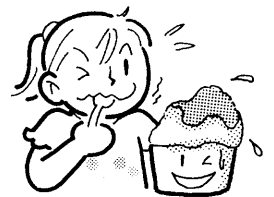
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
6月	0	8	2	0	1	0	11
7月	0	2	3	0	0	0	5

### 2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
6月	0	4	6	1	0	0	11
7月	0	1	4	0	0	0	5

### 3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 25件（前年同期 16件）



#### 4. 6・7月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	子育て・発達	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		3	2				5
	女		2	5				7
中学生	男		10	4				14
	女		13	2				15
高校生	男		1			1		2
	女					1		1
少年	男				1	1		2
	女				1			1
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	14	6	1	3	0	24
	女	0	15	7	1	1	0	24
男女合計		0	29	13	2	4	0	48

#### 5. 6・7月の相談回数（48件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
6・7月	男	88	14	55	157
	女	79	10	44	133
	計	167	24	99	290

### 相談指導学級 学級担当

6月、7月の通級生の状況は、4月、5月と変わりありません。

学級では、基本的に午前中は学習活動、午後は創作活動（火曜日のみスポーツ）という日課になっています。学習活動は、45分の単位で2単位行っています。学習活動への取り組みはますます真剣味が増してきました。学習方法に支援を要する生徒もいますが、ほとんどは自分で課題を見つけて進めています。自主的に取り組んでいる姿にすばらしさを感じます。現在中学生だけですが、進路選択がそう遠くありません。自分の進路も考えながら、確実な成長をしてほしいと願っています。たとえ少しずつの歩みでも……。

体験活動はばたきは、自分の将来の目標をしっかりとしたものにするための高校見学、生活体験としての調理実習、農耕体験として5月に自分たちの手で植え付けしたさつまいも畑の除草作業等々実施しました。どの活動も決して楽なものではなく、充実感・達成感等が十分味わえる活動であり、体験を通じて、各々が何かを学び取り、これからの社会生活に生かしてくれればと願っています。

# 電話相談



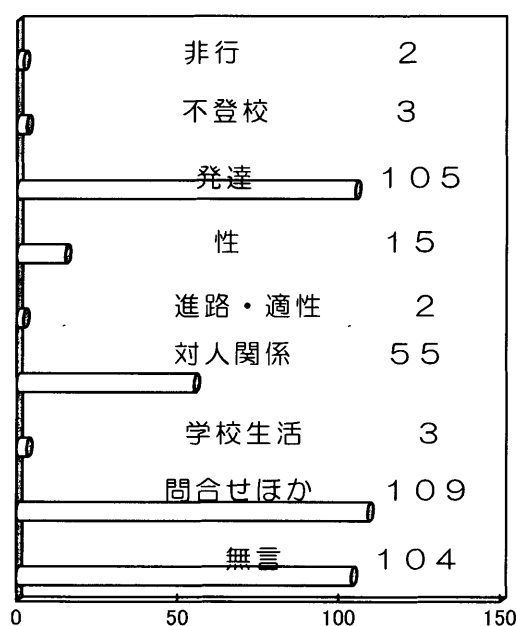
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。  
 ◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日  
 （祝祭日を除く）  
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 平成25年6月・7月の状況

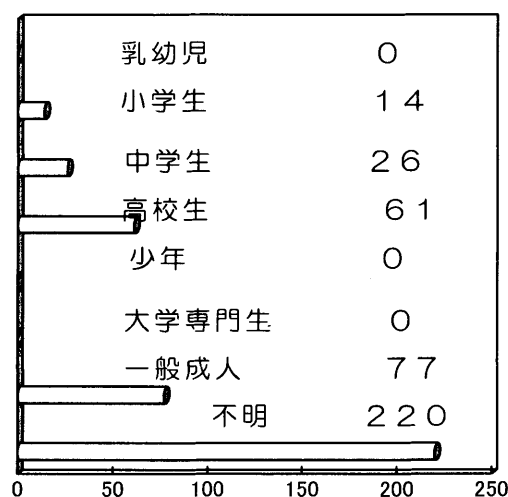
6月には228件、7月には170件の相談が寄せられました。  
 （前年6月：222件、前年7月：155件）

### 1. 6・7月の相談状況

相談内容別件数

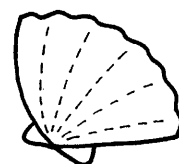


相談対象者別件数



### 2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成25年度)

総件数 1,000件（前年同期 758件）



#### (1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	2	4	252	35	2	130	5	221	349

#### (2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	28	39	186	2	1	140	604



# 子どもを見る目・三本の矢

静岡県立沼津商業高等学校 神部 亨

「アベノミクス」にあやかって、私も三本の矢を放ちたい。親と教師のための「子どもを見る目・三本の矢」である。

第一の矢は「野辺地のこかぶ」。青森県野辺地町は本州の北、最果ての地である。夏でも冷たいやませが吹き、稲の実がよく育たない。この地に生まれた農民は、郷土の貧しい気候風土を恨んだに違いない。しかし農民たちは、この寒冷な土地にあう作物はないかと考えた。そしてたどり着いたのがカブである。カブはもともと冬野菜。このカブを夏に作るのだ。その目論見は当たり、今や高級ブランドである。一見不利な条件を逆手に取った「野辺地のこかぶ」。子どもの教育にとって示唆するところ大である。

第二の矢は「部分と全体」。一人の人間にはさまざまな側面がある。その一部を取上げて、全体であるかのような見方をしてはならない。象の鼻は細くて柔らかだが足は太くて硬い。当然ながら、人間は象よりずっと複雑である。子どもの欠点を見つけたとき、そのことだけに目を奪われてはならない。その欠点は無数にある属性の一つであって、人格の全体ではない。「部分と全体」を見極めて、子どもの可能性を伸ばしてやりたい。

第三の矢は「子育てのツケ」。長年教師をやっていると、本人よりも親の問題、と思わされることがある。幼少期の子育てについてである。若い夫婦は子どもができれば毎日夢中で、家庭生活は子ども中心に一変する。子ども可愛さに、子どもの顔色が気になる。しかしその子はいつまでも世界の中心であるはずがなく、これに気づかぬまま思春期を迎えると様々な問題が生じる。反対に、幼少期に受けた心の傷は、必ず将来に傷あとを残す。ものの考え方や感覚は成育過程で培われ、ひとたび形成された感性は変わることが難しい。「子育てのツケ」は子どもが思春期になってから、親と教師が力を合わせて払うのである。

以上の「子どもを見る目・三本の矢」、はたして親と教師の心を射ることができますか。

## 1. 少年補導委員の延べ参加人数（6月・7月）

区別	市職員	教員	地区補導委員	女性補導委員	母親補導委員	警察関係	総数	
人数	6月	9	12	330	10	5	0	366
	7月	7	8	206	8	8	2	239

## 2. 補導回数・補導状況（6月・7月）

	補 導 回 数				声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
6月	2	11	35	48	75	0	0
7月	2	7	16	25	97	0	0

## 3. 平成25年度 4月からの補導活動累計

補 導 回 数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
145	1106	358	0	0

## 6月・7月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

この期間は、夏休みということで街には小・中・高校生の姿がたいへん多くみられました。4・5月同様ゲームセンターへの入場が多い状況ですが、昼間の入場が多いのがこの期間の特徴です。なお、夏休み中は、各種の特別な補導へのご協力ありがとうございました。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
飲	酒	男							0	
		女							0	
喫	煙	男							0	
		女							0	
夜 間 は い か い		男		4	3				7	8
		女		1	1				2	2
不 良 交 友		男							0	
		女							0	
怠 学 ・ 怠 業		男							0	
		女							0	
為	ゲームセンター入場	男		11	25				36	126
		女	2	2	7				11	40
種	パチンコ店入場	男							0	
		女							0	
	カラオケ店入場	男							0	
		女							0	4
別	自転車の暴走行為	男							0	
		女							0	
	自転車の二人乗り	男		2	8				10	10
		女		4					4	4
	自転車の無灯火	男			6				6	19
		女		1	1				2	7
	危険な遊び	男			12				12	12
		女			6				6	6
そ の 他		男	4	20	24		3		51	77
		女	3	6	16				25	43
計		男	4	37	78	0	3	0	122	252
		女	5	14	31	0	0	0	50	106
男 女 合 計			9	51	109	0	3	0	172	358

事 後	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
指 導	他 機 関 へ 連 絡	男							0	
		女							0	
合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

## 情報コーナー

# 不審者情報

市内小中学校から市教委に寄せられた1学期の不審者情報の件数は、下記の通りです。

4月(1件) 5月(5件) 6月(5件) 7月(8件) の計19件

このうち下半身露出が11件。浮島2、沢田3の5件は、いずれもバイクに乗った男が近づき下半身を露出する事件で同一犯の可能性もあります。その他大岡、今沢、原、静浦、金岡、第五校区でも露出狂が出ています。

原校区では、中2の女子がカッターを突き付けられ首を絞められたという凶悪な事件もありました。静浦でも不審な男が声をかけたり露出したりする事件が3件ほど、駅北でも声掛けが2件報告されています。学校では、児童生徒に注意を呼びかけ、警察とも連携して対応にあたっています。

なお、今、高校では携帯のラインを使う生徒が多く、お互いを誹謗中傷して生徒間の交友関係のトラブルに発展する事件が多く起こっているようです。



## センターの活動予定 (9月・10月の主な活動予定)

日 程	活動(行事) 予定	日 程	活動(行事) 予定
9月13日(金)	第3回補導委員会代表者会	10月3日(木)	畑の除草・軽スポーツ
	【体験活動はばたき】	24日(木)	教養活動体験
9月10日(火)	創作活動	30日(水)	キャンプ
19日(木)	富士山周辺体験見学		(~11月1日)
25日(水)	福祉体験		※天候等諸事情により、変更することがあります。

## 明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言 (昭和55年)

**あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪**

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。